

特別の教育課程の編成方針について

1. 特別の教育課程の概要及び編成方針

本校では、中学校インターナショナルクラスにおいて、英語、数学、理科、社会の4科目において授業を英語で実施するイマージョン教育を行っている。世界97カ国に姉妹校をもつサレジアン・シスターズを経営母体とする学校として、「21世紀に活躍できる世界市民の育成」を教育目標として設定しており、上記のイマージョン教育をその手立ての一環として位置づけている。主要科目を英語で学ぶことは、英語力の向上だけでなく、各教科における専門的な見方や考え方を日本語以外で習得することにも繋がっており、世界市民を目指す本校生徒の国際性向上に与える影響も多大である。

また、本校はケンブリッジ国際認定校であり、ケンブリッジ大学国際教育機構から教材やトレーニングなど幅広い支援を受け、学習指導要領に基づきつつ、**Cambridge Lower Secondary**の導入を行っている。イマージョン教育の実施は、このカリキュラム実施においても利点があり、生徒の深い知識理解を助ける意味合いも兼ね備えている。

さらに、心の教育、考え続ける力、コミュニケーション力、数学・科学リテラシー、言語活用力という5つの教育重点項目を掲げ、「21世紀に活躍できる世界市民」の育成に努めているが、イマージョン教育という特別の教育課程は本校の教育において重要な役割を担っている。

開始年度：令和5年度

2. 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成する必要性

本校は、前述のとおりイタリアを拠点とするサレジアン・シスターズを母体とし世界97カ国に姉妹校をもつなど、世界的な視野の獲得を目標とするだけでなく、国際性や多様性も重要視する学校である。また、現在13名の外国籍教員が勤務をしており、それぞれの科目の専門知識を持った教員が担当することで、日本人教員と同様に職責を果たしている。このような背景から、イマージョン教育を本校で行うことは極めて自然なことであると言える。

今後は、サレジアン・シスターズのネットワークを活用した教育内容の拡張を考えており、同世代の生徒たちが連携して問題解決に取り組み、多様な意見を出し合うという具体的な機会の創出も行う予定である。

そして、教育目標として「21世紀に活躍できる世界市民の育成」を目指しており、それには本校が実践している英語イマージョン教育が最適である。

中 学 校 教 育 課 程

(年 間 授 業 時 数)

学年	第1学年	第2学年	第3学年	合計
教科	インターナショナル クラス	インターナショナル クラス	インターナショナル クラス	インターナショナル クラス
国 語	175	175	175	525
社 会	<u>105</u>	<u>105</u>	<u>140</u>	<u>350</u>
数 学	<u>175</u>	<u>175</u>	<u>175</u>	<u>525</u>
理 科	<u>105</u>	<u>140</u>	<u>140</u>	<u>385</u>
音 楽	70	35	35	140
美 術	70	70	70	210
保体 健育	105	105	105	315
技家 術庭	70	70	35	175
英 語	<u>350</u>	<u>350</u>	<u>350</u>	<u>1050</u>
宗 教	55	35	35	125
総な 合学 的習	50	70	70	190
特活 別動	35	35	35	105
合 計	1365	1365	1365	4095

※下線部が英語によるイメージング授業